

「第 223 回佐賀精神科集談会」

特別講演のご案内

演題：「精神科における認知症診療のパースペクティブ

—認知機能障害から BPSD まで—

講師：橋本 学（肥前精神医療センター 認知症疾患センター長）

日時：令和 7 年 10 月 29 日（水）19：00～

アルツハイマー病（AD）におけるアミロイド β 蛋白（A β ）に作用する疾患修飾薬として、抗 A β 抗体薬であるレカネマブが 2023 年 9 月、ドナネマブが 2024 年 9 月に本邦で承認され、わが国でも AD に対する疾患修飾治療（DMT）の時代に入った。抗 A β 抗体薬については、副作用としてのアミロイド関連画像異常（ARIA）の懸念から 1.5Tesla 以上の MRI を自施設で有していることなどの施設要件が課され、これまで地域の認知症医療の中核となってきた多くの単科精神科病院、精神科診療所が抗 A β 抗体薬治療の初回投与施設からはずれた。抗 A β 抗体薬の初回投与施設の診療科毎の比率は、脳神経内科：精神科：脳神経外科＝6:2:2 ともいわれる。MCI&軽度認知症レベルの早期 AD における精神科のプレゼンスは低下したともいえる。一方で、近年 50 歳以上で発症する不安、抑うつ、幻覚・妄想を呈する疾患群のうち、軽度行動障害（MBI）とされる群では認知症発症のリスクが高いことが指摘されている。不安障害、うつ病として加療されてきた高齢患者が認知症化するケースは実臨床でも珍しくはない。本講演では、不安・抑うつや軽度の幻覚・妄想を呈する認知機能障害のない段階から、MCI～軽度・中等度・重度までの一貫した cure、および認知機能/ADL から BPSD までの幅広い診療スペクトラムを有する精神科での認知症診療の意義について考えたい。

（講師略歴） 橋本 学（はしもと まなぶ）

1991 年佐賀医科大学医学部卒業。1996 年山口大学医学部大学院医学科博士課程修了。佐賀医科大学医学部附属病院内科、山口大学医学部附属病院精神神経科で研修。1999 年山口大学医学部附属病院精神神経科助手。2003 年同講師。2006 年産業医科大学リハビリテーション医学講座を経て、2008 年より肥前精神医療センター勤務。現在認知症疾患医療センター長、リハビリテーション科長。日本精神神経学会精神科専門医・指導医。日本老年精神医学会専門医・指導医。日本総合病院精神医学会専門医・指導医・評議員、認知症委員会委員、ECT 委員会委員。日本リハビリテーション医学会認定臨床医。日本認知症ケア学会代議員。日本認知症予防学会認知症予防専門医・予防専門士指導医。日本公的病院精神科協会作業療法委員会委員。



主催：国立病院機構 肥前精神医療センター 集談会係

(<https://hizen.hosp.go.jp>)

〒842-0192 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町三津 160 電話 0952-52-3231 FAX0952-52-3400

お問い合わせ先：集談会担当医師 山元美和子（担当事務 加藤）